

# 浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

## 1 はじめに

当プログラム（静岡家庭医養成プログラム）では、家庭医療クリニックでの継続研修を含めた4年間のプログラムを通して、家庭医・総合診療医として必須の外来・在宅・入院・救急での診療能力を身につけます。「子宮の中から天国まで」をモットーに子どもから思春期、女性、成人、高齢者と、年齢・性別にかかわらずあらゆる健康問題に包括的・継続的に対応します。家庭医・総合診療医は、多疾患併存で、複雑な家族・社会背景を抱える方の多い超高齢社会の地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を担います。指導医とともに専攻医は地域の中で、住民・行政と協働し、地域全体の健康づくりに取り組んでいきます。

世界家庭医療学会（WONCA）の国際標準「家庭医療専門医」を取得できるプログラム構成です。明日の地域医療のため皆さんも一緒に学んでみませんか。  
(詳細は静岡家庭医養成プログラム <https://www.shizuoka-fm.org/>)



プログラム統括責任者 浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授 井上真智子

## 2 目的

当プログラムでは以下のような総合診療医を育成します。

1. 家族ぐるみのかかりつけ医（家庭医）として、全科診療（子ども・成人・女性・高齢者のケアを含む）ができる。
2. 患者中心の医療の方法論をふまえた診療ができる。
3. 患者・家族の人生に寄り添う在宅ケア・在宅ホスピスができる。
4. グループ診療、協同学習、多職種協働のチーム医療ができる。
5. 長期的な観点から全ての年齢に応じたヘルスマネジメントができる。
6. 家庭医療学の発展のためにリサーチマインドを持って研鑽できる。

## 3 研修病院群

- (1) 専門研修基幹施設：浜松医科大学医学部附属病院
- (2) 専門研修連携施設：磐田市立総合病院、菊川市立総合病院、公立森町病院、市立御前崎総合病院、菊川市家庭医療センター、森町家庭医療クリニック、御前崎市家庭医療センター、中東遠総合医療センター、藤枝市立総合病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、浜松医療センター、坂の上ファミリークリニック、浜松佐藤町診療所、佐久間病院、聖隷袋井市民病院、伊東市民病院、西伊豆健育会病院、トータルファミリーケア北西医院、南生協病院、三島共立病院、JA 静岡厚生連清水厚生病院、榛原総合病院、天竜病院、市立湖西病院

## 4 専攻医受入数

8名

## 5 研修期間

4年間

総合診療専門研修 3年間（36ヶ月）＋家庭医療専門研修 1年間（12ヶ月）

## 6 研修計画(例)

継続性をもって患者・家族に関わる家庭医としてのアイデンティティを確立するため、各科ローテーション中も1、2年次は週一回のHalf-day back、3年次はOne-day back、4年次は12ヶ月間連続して所属の家庭医療クリニック（菊川市、森町または御前崎市）で診療を行います。診療終了後は、指導医や専攻医との振り返りを行います。各科研修で学んだ知識を統合しつつ、家庭医としての知識、スキル、態度を身につけていきます。

### 1. 家庭医療外来・訪問診療研修（在宅医療）

- ◆ プリセプター室（指導室）を診察室の隣に設置しています。
- ◆ 外来患者1人ずつの指導を、プリセプター（指導医）が行います。着実に幅広くレベルの高い診療能力を身につけることを目指します。疾患の診断・管理、患者中心のケアおよび予防接種・健診等を含めたヘルスマネジメント・ヘルスプロモーションにも配慮することを学びます。

### 2. 充実した女性診療研修

- ◆ 家庭医として必要なウィメンズヘルスの知識やスキルを身につけます。産婦人科研修では、妊婦検診、正常分娩の取り扱いができるようになることを目指します。
- ◆ 産婦人科では浜松医大産婦人科家庭医療学講座教員が指導を行います。

### 3. オリジナル研究プロジェクト

- ◆ 4年間を通して、それぞれが研究プロジェクトを実施します。浜松医大地域家庭医療学講座およびミシガン大学家庭医療科教員のメンタリングを受けながら、研究計画の立案・実施、データ収集、データ分析・まとめ、学会発表、論文発表を経験します。

### 4. グラウンドラウンド（GR）

- ◆ 木曜日の午後にはレクチャーやセミナー、ワークショップを開催しています。専攻医、指導医および多職種での学習会も行います。また、気づきや学びを深めるため、ポートフォリオの検討や振り返りをレジデント全員で行います。

### 5. アドバイザー制度

- ◆ 各専攻医に対し指導医がアドバイザーとなり、定期的にアドバイザー・ミーティングを行って、家庭医としての成長をともに確認していきます。

## 【総合診療専門医及び家庭医療専門医同時取得プログラム例】

総合診療Ⅰ（家庭医療クリニックにおける外来・在宅診療） 18カ月

総合診療Ⅱ（病院における総合的な病棟研修・外来・救急） 6カ月

内科（専門内科および総合内科） 6～12カ月

救急科：3カ月、小児科：3カ月、産婦人科：2カ月

整形外科・リハビリ：2カ月、緩和ケア：2カ月、選択：（最大）6カ月

精神科、泌尿器科、皮膚科、選択：外来パートタイム研修

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専攻医1年目	ローテーション	総合診療Ⅱ			内科			救急科			小児科		
	クリニック	Half-day back (週半日の継続診療)											
専攻医2年目	ローテーション	内科									総合診療Ⅱ		
	クリニック	Half-day back (週半日の継続診療)											
専攻医3年目	ローテーション	産婦人科	整形外科	緩和ケア	総合診療Ⅰ								
	クリニック	One-day back (週1日の継続診療)						選択 (週1他科研修)					
専攻医4年目	クリニック	家庭医療Ⅰ (家庭医療クリニック)											
	他科(週1)	精神科			泌尿器科			皮膚科			選択		

## 7 問い合わせ先

静岡家庭医養成プログラム事務局

浜松医科大学地域家庭医療学講座／総合診療教育研究センター

Tel:053-435-2416 E-mail:fammed@hama-med.ac.jp

## 8 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

### (1) 領域、プログラムリーダー

領域：総合診療科

プログラムリーダー：浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授 井上真智子

### (2) キャリア形成プログラム受入見込み数

8名

### (3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間で医師少数区域または医師少数スポットで勤務

初期研修	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
2年	4年	3年
県内病院	菊川、森町、御前崎市のいずれかの施設を中心に、必修・選択診療科ローテーションを所定の期間実施する。	キャリア形成研修目的に応じ、プログラム責任者と県で相談の上、研修先を調整する。

### (4) 勤務する医療機関

二次医療圏	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
賀茂	西伊豆健育会病院	キャリア形成研修目的に応じて左記を中心に決定する。
熱海伊東	伊東市民病院	
駿東田方		

富 士		
静 岡	<u>清水厚生病院</u>	
志太榛原	<u>藤枝市立総合病院、榛原総合病院</u>	
中東遠	<u>磐田市立総合病院、中東遠総合医療センター、菊川市立総合病院、公立森町病院、市立御前崎総合病院</u>	
西 部	<u>浜松医科大学医学部附属病院、佐久間病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、天竜病院、市立湖西病院</u>	

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

※菊川市家庭医療センター、森町家庭医療クリニック、御前崎市家庭医療センターしろわクリニックで研修を実施する可能性があります。

#### (5) 取得できる資格

家庭医療専門医、病院総合診療専門医、地域総合診療専門医

#### (6) 問い合わせ先

浜松医科大学地域家庭医療学講座／総合診療教育研究センター  
Tel:053-435-2416 E-mail:fammed@hama-med.ac.jp